

2023～2024年度

第1回キャビネット会議議事録

議長：地区ガバナー L. 新里 正雄
司会進行：キャビネット幹事 L. 米元 文啓

【日時】2023年7月29日（土）

【場所】那覇市／沖縄ハーバービューホテル 2F「白鳳の間」

次 第

1. 開会宣言並びにゴング
2. 国旗に敬礼・国歌並びにライオンズクラブの歌斉唱
3. 物故ライオンに黙祷
4. 定足数の確認（キャビネット幹事より定足数に達し、会として成立するとの報告）
5. 出席者紹介（出席者名簿により、確認）
6. 地区ガバナー挨拶
（キャビネット会議翌日に開催されるRC・ZC・地区正副委員長研修会の開催目的についての説明と、名誉顧問はじめ役員皆様へのご協力をお願いする旨の挨拶があった。）
7. 前年度地区ガバナーへパーストバッジの贈呈
（前地区ガバナーL. 川田代泰和へ贈呈された。）
8. 役員バッジ並びに委員長タブの贈呈
（国際会長よりの役員バッジが地区ガバナーより関係役員へ配布された。）
9. 本年度活動方針
 - (1) 国際プログラム（会議要綱 P.6～P.7/参照）
 - (2) 地区ガバナーの基本方針並びに重点目標について（会議要綱 P.8～P.9/参照）
（はじめに、基本方針についてはP6～P9を一読してもらいたいと説明。
次に、各委員会へのお願いとして、お互いに月一回進捗状況を確認しキャビネット事務局へ報告してほしいとの依頼があった。）

また、国際大会の代議員について、今年度までは家族会員を含め25名に1人を選出することができたが、次年度からは家族会員は分母には含まれないとの説明があった。

今年度より今後4年間にわたる取り組み、ミッション1.5（ワンポイントファイブ）について、国際協会の会員を2027年度7月1日までに150万にしようとしている取り組みであることが説明され、各クラブに具体的な増員計画を立てて達成していただきたい。更に、今年度より値上げされる国際会費が最終的には50ドルになり負担が増える事になるが、LCIFの寄付目標額は、2025～2026年度までに年間6,000万ドルの計画をたてている。皆様にぜひご協力頂きたい旨、要望があった。

最後に鹿児島R.1Z・2Zより九州豪雨災害見舞金として50万円の寄付があったことが報告された。

1 0. 議事録作成人及び議事録署名人議事録署名人の指名

(議事録署名人としてキャビネット幹事 L.米元文、議事録署名人として沖縄 R. RCL.金城寛、地区 ICT 副委員長 L. 喜名景秀が指名された。)

1 1-1. 審議事項

(1) 財務運用・管理の基本事項 (案)

(異議無く承認された)

(2) 一般会計・特別会計予算 (案)

[キャビネット会計より、各予算についての説明があり、質疑応答後に承認された。]

※質疑応答

(名誉顧問 (元地区ガバナー) L 吉村千鶴子より前年度は福利厚生費・退職金引当金が計上されているが今年度は計上が無いがなぜかとの質問に対し、地区ガバナー L 新里正雄より今期の事務局員は契約社員となっているため計上していないとの回答があった。)

(3) 諸会費納入額について (案)

(異議無く承認された)

(4) 地区旅費規程 (案)

(5) 地区慶弔規定 (案) 並びにキャビネット事務局慶弔規定 (案)

(6) 地区「緊急災害援助基金」規定 (案)

(7) 第 70 回ガバナーズアワード授与基準 (案)

[以上 (4) ~ (7) の各規定及び授与基準 (案) について、異議無く承認された]

1 1-2. 要望・協議事項

(1) (前年度より継続審議) キャビネット事務局の固定化について

[名誉顧問会議においてキャビネット事務局設置はガバナーの専権事項であるとの審議がなされた旨説明があった。]

また、事務局の移設には 300 万かかるとあるが実際にはかかっていない。以前は地区分割の際に 337-E 地区と按分した剰余金 300 万円を次期キャビネットの準備金としていた。この準備金は、鹿児島であっても沖縄であっても準備金として 300 万円をもらい、そのまま次年度の準備金として 300 万円拠出するお金であったが、ここ 2~3 年で運営費へ繰り込まれており、経費が不明瞭な点が出てきていると、名誉顧問・元地区ガバナー L. 百田勝彦より説明があった。沖縄へキャビネットが移動するたびに 300 万円かかっていないことは、以前の決算書を確認して頂ければ明白であり、そのため提出議案自体、誤った認識のもと提出されているため、ガバナー権限で審議無効となり廃案とすることとなった。]

1 2. 行事予定他報告

[キャビネット幹事より以下報告された]

(1) キャビネット行事日程表

(2) ガバナー公式訪問実施予定表

(3) 地区年次大会他

イ. 第 70 回地区年次大会

ロ. 第 70 回複合地区年次大会

ハ. 第 61 回東洋東南アジア・フォーラム

ニ. 第 106 回国際大会

ホ. ○周年式典等予定表

(第二副地区ガバナーL.脇黒丸一典より 337-D 地区一般会計内引継規定について、次年度にもかかわることなので規定内容について確認したいとの質問があり、地区ガバナーL.新里正雄より次の年次大会で引継基金をどうするかを提案するとの回答があった。)

1 3. 地区役員の方針と目標について各位より以下の挨拶がなされた

(1) 鹿児島R. RC (第二副地区ガバナー) L. 脇黒丸一典より

(ガバナーのスローガン・テーマにそって自分が楽しみならライオンズを作る。それが会員増強につながると考えている。また、ZCとともに各ゾーンの諮問委員会・合同例会に積極的に参加していきたい。また各クラブ単位で会員一人100ドルの寄付を望んでいる。)

沖縄R. RC L. 金城寛より

(ガバナーの基本方針に沿ってリジョンを盛り立てていきたい。また、LCIFについてもZCとクラブ訪問をして100ドル献金をみんなに訴えて聞き一人一人が理解してもらえるようにしたい。)

(3) 各ゾーン・チェアパーソンより

鹿児島 R.1Z.ZC.L.徳利 浩司

(ライオンズとは何かをもう一度勉強しながら地区ガバナーL.新里正雄に心を寄せ、RCの指導の下ガバナーの意向をRCと一緒に責務を遂行していきたい。)

鹿児島 R.2Z.ZC.L.中原 秋男

(RCと一緒に各クラブを訪問し、ガバナーの意向などを説明しながら、ZCとしての職務に務めている。)

鹿児島 R.3Z.ZC.L.小山 国

(委員会においていろいろな意見が出て驚いている。ゾーン内のクラブを訪問し自分のクラブが楽しいとの状況を口外し盛り上げる。これが会員増強につながると考えている。)

鹿児島 R.5Z.ZC.L.小川 武男

(5Zは4クラブで結成され、会員が110名ぐらいで会員が減少している。楽しいライオンズクラブを目指している。皆様方のご指導をお願いしたい。)

鹿児島 R.6Z.ZC.L.篠田 照明

(ここ数年ライオンズクラブがコロナの関係で活動ができなかった。リスタートとして皆さんの意見をききながらクラブと一緒に活性化に努めていきたいのでご指導お願いしたい。)

鹿児島 R.7Z.ZC.L.加藤 俊作

(以前キャビネット幹事として経験し多くの気づきを得た。いろいろな経験をしたのでしっかりといかしていきたい。また、ガバナースロガン・テーマを念頭にアフターコロナの社会において7Z内でお互いに切磋できるような環境づくり出していきたい。)

鹿児島 R.8Z.ZC.L.福 吉信

(すでにゾーンミーティングを行った。2/24 沖永良部 LC の50周年があり沖縄の皆さんにも参加して頂きたい。)

沖縄 R.2Z.ZC.L.福里

(ZCとして各クラブ訪問してクラブの現状確認をしたい。例会訪問しながらお互いに盛り上げて会員増強につなげていきたい。ライオンズクラブの存在価値を地域で示していけるか確認しながら盛り上げていきたい。)

(4) 各委員長より

GAT 委員長 L.吉村千鶴子

(各委員会の目的に沿って正副委員長とともに、会員のため地区の活性化に向けて鹿児島リジョン・沖縄リジョンが一丸となって取り組んでいきたいと考えている。クラブに至っては地区の委員会が充実して活発であればクラブも活性化するのではないかと考えている。LCIF においては、今期 337 複合地区では「フレンドシップ 100」のネーミングで取り組んでいくので 100 ドル寄付のご協力をよろしくお願ひしたい。)

GLT 委員長 L.新山 広明

(コロナ過にあっても新しいクラブができているが、新しい会員に対するライオンズクラブの説明が不十分である。ニューメンバースクールでしっかり組織について伝えていきたい。ライオンズクラブは毎年毎年進化しており、ベテラン会員においてもしっかりと進化についていけるようニューメンバーだけでなく皆さんに対してセミナーを考えている。鹿児島・沖縄間の交流が希薄になっていると思うのでリーダーシップ研修会も合同で開催できたらと、ガバナーと相談しながら企画している。)

GMT 委員長 L.若松 忠洋

(会員増強はもとより会員維持・会員の満足度向上のためにはどのようなアプローチをしていくか考え、また、若い会員を獲得することによるメリットなどみんなの意見を交えながら社会貢献に取り組みたい。)

GET 委員長 L.前泊 寛通

(委員会の方針と目標については、前期の戦略を継続するのが第一でミッション 1.5 の決定事項を随行していきたい。EXT は増強の要であるが、新クラブ結成には 20 名集めるのは難しいため、スペシャリティクラブもしくは支部の結成を目標としている。)

GST 委員長 L.上山 秀寿

(三献運動を推進していきたいのでご協力をお願いしたい。)

SCP・FWT 委員長 L.天願 和美

(今年もこれまで通り活動を続けていきたい。FWT としてヘッドネーション・レモネードスタンド、外貨・書籍・MD・ゲーム機の収集、災害支援、人道支援を継続する。活動しているが活動を報告していないクラブがあるのでクラブで FWT 委員会を作りお互いに協力して報告してほしい。レモネードスタンドは、単独の活動より献血活動と一緒に進むと活動として成果があると感じている。)

LCIF 委員長 L.下園 雄治

(地震・水害が増え、戦争で世界に犠牲者が増えている。日本でも貧困家庭が増えており、世界のどこかで奉仕を待っている人がいる。4/26 岡山 LCIF 集中セミナーに参加し、言語化しながら戦略をもって 100 ドル寄付を各クラブに丁寧に説明しながら、D 地区目標に 20 万ドルを達成できるよう協力をお願いしたい。)

YCE・レオ委員長 L.青木 和彦

(YCE 派遣・受入れがコロナの影響で日本レベルではまだ完全に戻っていないため、派遣・受入できる国が限定されており、337 複合地区ではシンガポールだけとなっている。今年の冬までの派遣・受入れは県ほぼ決まっているが、来年は派遣・受入がシンガポール以外の国が増えることを期待している。)

クエスト委員会 L.高良 恒己

(クエストについては 8 月に浦添 LC、鹿児島さつま LC、与論 LC にてワークショップ、9 月に浦添・浦添でだこ LC にてフォローアップセミナー開催予定。薬物乱用防止認定講師

育成は鹿児島に於いては昨年終了しており、沖縄は 12/16 に開催予定。

ライオンズメンバーが講師となっている広島フェニックス LC がスタートさせた「ヤング薬物乱用防止認定育成」を大学生・高校生を対象に行いたいと考えている。(クエスト委員会の予算の中で捻出しても良いのか考えてほしい。)

アラート委員長 L.岡村 光哲

(アラートに関する資料が少ない。大きな災害が発生した場合社会福祉協議会が、災害ボランティアセンターを立ち上げ人材派遣をしている。アラート委員を各クラブにおいていただき、何かあった場合は地域の身近なクラブが力を発揮してほしい。)

ICT 委員長 L.菊谷 佳孝

(システム開発の中でライオンズもそのシステムを活用してほしい。クラブの会員動静の報告は 100% されているが、アクティビティ報告は昨年は 60% であった。システムを使ってもらうための指導をさせてもらうのが委員会の仕事となると思う。コロナの影響で TV 会議システムが進化している。鹿児島・沖縄を結ぶことで TV 会議も以前より安価でつなげるシステムがあり何年かかかるかわからないが皆さんと環境づくりを考えていきたい。

1 4. 参考資料

- | | |
|----------------------|---------------------|
| (1) 前キャビネットからの申し送り事項 | (会議要綱 P.33/参照) |
| (2) 地区大会開催地並びに大会会長 | (会議要綱 P.34/参照) |
| (3) 地区歴代キャビネット三役 | (会議要綱 P.35/参照) |
| (4) 地区クラブ調査票 | (会議要綱 P.36~P.37/参照) |
| (5) 地区組織編成表 | (会議要綱 P.38/参照) |

[キャビネット幹事 L.米元より、お目通しいただくようお願いがなされた。]

1 3. その他

(前地区ガバナー L.川田代 泰和より今年度ガバナーチームは、頑張っておられる。皆様のご指導を仰ぎながらこの年度を素晴らしいものにしていくよう頑張してほしいとの挨拶があった。)

1 4. ライオンズ・ローア

[地区名誉顧問会議長・元地区ガバナー L.金沢幸一の発声でライオンズ・ローアが行われた。]

1 5. 閉会宣言並びにゴング

[地区ガバナー L.新里正雄の閉会宣言並びにゴングで、第 1 回キャビネット会議を終了した。]

議事録作成人

キャビネット幹事

米元 文啓

議事録署名人

沖縄 R. RC

金城 寛

地区 ICT 副委員長

喜名 景孝